

MR I 検査における造影剤投与に関する同意書

MRI 検査当日、造影剤という検査薬を使用します。この造影剤を使った MRI 検査を受けられる方には、あらかじめ同意書を頂いています。納得されましたら、下記の同意書に署名をしてください。同意書を提出された後でも検査をキャンセルすることができます。

【造影剤とは】

診断にあたって情報量を増やすために造影剤により画像にコントラストをつけます。MRI 検査では、ガドリニウム造影剤が使われます。腎機能が正常であれば、注射後 6 時間で 80%以上が腎臓から尿として排泄され、やがて全てが体外に排泄されます。

【目的・利点】

静脈内に注入された造影剤は、血管を介して全身の臓器に分布します。したがって、血管腔の状態、臓器の血流状態および病変での造影剤の分布がわかり、画像診断上、重要な情報となることがあります。

【副作用とその対応】

最近では、副作用の少ないものが開発されていますが、それでも全く危険性をなくすことはできません。軽微な副作用を含めて、1～2%の患者さまに何らかの副作用が生じます。ほとんどは気分が悪くなったり吐いたり、じんま疹が出たり、顔がほてったりといった軽い、一過性のものです。しかし、まれに冷や汗が出たり、胸が苦しくなったりすることがあります。また、4万人に1人程度の割合で、ショックなどの重篤な副作用を生じることがあります。極めてまれですが、死に至る報告もあります。検査中に何かあれば至急対処します。予期せぬ事態に対しては、担当医と主治医が最善の対処を致します。検査終了後に生じる遅発性の副作用はないといわれていますが、何か異常が現れた場合には、すぐにかかりつけ医へご連絡ください。(休日・夜間の連絡先：富士市立中央病院 0545-52-1131 救急外来)

【注意点】

1. アレルギー体質の方は副作用を生じる可能性が約 3.8 倍、喘息の方は約 1.5 倍多いといわれています。また以前、造影剤で具合が悪くなったことがある方も高い頻度で副作用が生じる可能性があるといわれています。重い腎臓の病気のある方も腎臓からの排泄が遅くなる可能性があります。次に該当する方は造影検査の際に主治医および担当医にお知らせください。

- (1) 以前、造影剤で具合が悪くなったことがある。
- (2) 本人または血縁者に喘息やアレルギーがある。
- (3) 重い腎臓の病気がある。

2. 造影剤は静脈内に注射しますが、静脈には個人差があり造影剤が血管外に漏れやすい体質の方がおられます。漏れた造影剤は時間とともに吸収されますが、漏れた量によっては必要に応じて処置を行う場合があります。

(検査日 平成 年 月 日)

今回、MR I 造影検査にあたり、

(平成 年 月 日、医療機関名、医師氏名 (自署))

(立会い看護師氏名 (自署))

より検査内容とその必要性について十分な説明を受け、了解しましたので検査の実施をお願い致します。

(あて先) 富士市立中央病院 院長

平成 年 月 日

患者自署 住所 _____

氏名 _____

本人が同意の意思を表明できませんので、本人に代わり私が同意いたします。

代理人自署 住所 _____

氏名 _____

(患者との続柄 _____)

CT検査における造影剤投与に関する同意書

CT検査当日、造影剤という検査薬を使用します。この造影剤を使ったCT検査を受けられる方には、あらかじめ同意書を頂いています。納得されましたら、下記の同意書に署名をしてください。同意書を提出された後でも検査をキャンセルすることができます。

【造影剤とは】

造影剤は診断にあたって情報量を増やすために画像にコントラストをつけます。CT検査では、水溶性造影剤が使われます。腎機能が正常であれば、注射後6時間で約90%が腎臓から尿として排泄され、やがて全てが体外に排泄されます。

【目的・利点】

静脈内に注入された造影剤は、血管を介して全身の臓器に分布します。したがって、血管腔の状態、臓器の血流状態および病変での造影剤の分布がわかり、画像診断上、重要な情報となることがあります。

【副作用とその対応】

最近では、副作用の少ないものが開発されていますが、それでも全く危険性をなくすことはできません。軽微な副作用を含めて、約3%の患者さまに何らかの副作用が生じます。造影剤の副作用には検査中や直後に生じる即時性のものと、検査終了数時間から数日後におきる遅発性のものとがあります。

即時性副作用：ほとんどは気分が悪くなったり、じんま疹が出たり、とう軽いものです。しかし、まれに冷や汗が出たり、胸が苦しくなったりすることがあります。また、1万人に4人程度の割合で、ショックなどの重篤な副作用を生じることがあります。極めてまれですが、死に至る報告もあります。検査中に何かあれば至急対処します。予期せぬ事態に対しては、担当医と主治医が最善の対処を致します。

遅発性副作用：まれに、検査終了数時間から数日後くらいに頭痛がしたり、じんま疹などがでることがあります。何か異常が現れた場合には、すぐにかかりつけ医へご連絡ください。

(休日・夜間の連絡先：富士市立中央病院 0545-52-1131 救急外来)

【注意点】

1. アレルギー体質の方は副作用を生じる可能性が約3倍多いといわれ、なかでも喘息の方は約10倍といわれています。また、腎臓の悪い方に使うと腎機能を更に悪化させることがあります。次に該当する方は造影検査の際に主治医および担当医にお知らせください。

- (1) 以前、造影剤で具合が悪くなったことがある。
- (2) 本人または血縁者に喘息やアレルギーがある。
- (3) 腎臓の病気がある。

2. 造影剤は静脈内に注射しますが、静脈には個人差があり造影剤が血管外に漏れやすい体質の方がおられます。漏れた造影剤は時間とともに吸収されますが、漏れた量によっては必要に応じて処置を行う場合があります。

(検査日 平成 年 月 日)

今回、CT造影検査にあたり、

(平成 年 月 日、医療機関名、医師氏名 (自署))

(立会い看護師氏名 (自署))

より検査内容とその必要性について十分な説明を受け、了解しましたので検査の実施をお願い致します。

(あて先) 富士市立中央病院 院長

平成 年 月 日

患者自署 住所 _____

氏名 _____

本人が同意の意思を表明できませんので、本人に代わり私が同意いたします。

代理人自署 住所 _____

氏名 _____

(患者との続柄 _____)

超音波検査における造影剤投与に関する同意書

超音波検査当日、造影剤という検査薬を使用します。この造影剤を使った超音波検査を受けられる方には、予め同意書を頂いています。納得されましたら、下記の同意書に署名をしてください。同意書を提出された後でも検査をキャンセルすることができます。

【副作用について】

この造影剤を注射した時、0.1～5%ほどの患者さまに、下痢、頭痛、蛋白尿、発疹、口の渇き、注射した部分の痛みなどの副作用がみられることがあります。
いずれも軽微なものであり、本邦においては重篤な副作用の報告はありません。

【注意点】

- 次に該当する方は造影剤使用の可否を主治医とご相談ください。
 - 以前に、超音波造影剤で気分が悪くなったことがある。(禁忌)
 - 卵または卵製品にアレルギーがある。(原則禁忌、特に必要な場合は慎重投与)
 - 重篤な心疾患がある。(慎重投与)
 - 重篤な肺疾患がある。(慎重投与)
 - 心臓や肺に動静脈シャントがある。(慎重投与)
 - 妊娠、または授乳中である。(慎重投与)
 - 小児(安全性は確立していない)
- 造影剤は静脈内に注射しますが、静脈には個人差があり造影剤が血管外に漏れやすい体質の方がおられます。漏れた造影剤は時間とともに吸収されますが、漏れた量によっては必要に応じて処置を行う場合があります。

(検査日 平成 年 月 日)

今回、超音波造影検査にあたり、

(平成 年 月 日、医療機関名 _____、医師氏名 _____ (自署))
(立会い看護師氏名 _____ (自署))

より検査内容とその必要性について十分な説明を受け、了解しましたので検査の実施をお願い致します。

(あて先) 富士市立中央病院 院長

平成 年 月 日

患者自署 住所 _____
氏名 _____

本人が同意の意思を表明できませんので、本人に代わり私が同意いたします。

代理人自署 住所 _____
氏名 _____
(患者との続柄 _____)